

鳳凰
うまい酒
よい酒
一オ一ホ

新宗東二條通 電話(3) 5715
3584

新宗東二條通 電話(3) 5715
3584

不羈雄

新京大

大連火災を解散し 満洲火保に譲渡

七月早々の株主總會で決定

大連火災海上火保株式會社は、滿洲火災火保株式會社に、大連火災火保株式會社の全部株式を譲渡することを決定した。この決定は、七月早々の株主總會で決定される。大連火災火保株式會社は、大連市に所在し、大連火災火保株式會社の全部株式は、満洲火災火保株式會社に譲渡される。満洲火災火保株式會社は、大連市に所在し、大連火災火保株式會社の全部株式は、満洲火災火保株式會社に譲渡される。

五月中滿洲對外貿易 輸出入共に著増

對日斷然群を抜く

五月中の滿洲對外貿易は、輸出六千五百七十四萬七千七百七十七圓、輸入一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓、合計一億八千三百五十二萬四千五百五十四圓と、前年同期に比べて、輸出は二億四千五百五十四圓、輸入は一億八千三百五十二圓、合計四億二千九百零六圓と、著しく増加した。この増加は、對日貿易の著しい増加によるものである。對日貿易は、輸出一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓、輸入一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓と、前年同期に比べて、輸出は一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓、輸入は一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓と、著しく増加した。

貿易局面に

國內産業開發の進行漸く反映

貿易局面は、國內産業開發の進行が反映され、輸出が増加している。輸出は、前年同期に比べて、二億四千五百五十四圓と、著しく増加した。この増加は、國內産業開發の進行によるものである。國內産業開發は、輸出を増加させることにより、貿易局面を好転させている。

全滿鐵道貨物運賃

七月早々正式發表

十月一日から實施の方針

全滿鐵道貨物運賃は、七月早々正式發表され、十月一日から實施される。運賃は、前年比で、平均して、二割から三割の増加が見込まれる。この増加は、燃料費の増加によるものである。燃料費の増加は、運賃の増加を招き、貿易局面を悪化させている。

日銀保有公債

日銀は、七月早々、公債の保有額を増加させた。保有額は、前月比で、一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓と、増加した。この増加は、日銀の政策によるものである。

天津、大連航路に

天津、大連航路は、七月早々、船舶を増加させた。船舶は、前月比で、一船と、増加した。この増加は、航路の好転によるものである。

二船を増配

國際運輸

國際運輸は、七月早々、貨物の輸送量を増加させた。輸送量は、前月比で、一億一千七百七十七萬七千七百七十七圓と、増加した。この増加は、國際貿易の好転によるものである。

大同炭産

對日輸出

對日輸出

對日輸出

對日輸出

新報輸入組合 五月份成績

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

海外經濟情報

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

各地市況

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

各地市況

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

各地市況

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

敵前銃後

敵前銃後、七月早々、戦況が好転した。敵は、我々の攻撃に、大膽に反撃した。我々は、敵の反撃に、果敢に抵抗した。戦況は、好転している。

敵前銃後

敵前銃後

敵前銃後

敵前銃後

敵前銃後

銀座

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

銀座

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

銀座

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

銀座

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

銀座

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

映画

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

映画

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

映画

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

映画

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

映画

品名	数量	金額
紙	1000	10000
布	500	5000
その他	100	1000

式様と殖利

式様と殖利、七月早々、戦況が好転した。敵は、我々の攻撃に、大膽に反撃した。我々は、敵の反撃に、果敢に抵抗した。戦況は、好転している。

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

式様と殖利

社説

時局と國民の認識

わが大政の推進もその原則は日本に在る。これをわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

いざ決戦となるぞ

蔣直系軍を後退

雜軍將領極度に憤激

【石家莊九日電】蔣介石は自己實力を保持する。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

府財政愈々窮乏

遂に輸入統制の舉に出づ

【上海九日電】國民政府財政部は去る三月以來中央銀行をして爲替を統制し、輸入の制限を行つて來た。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

國民政府奥地の工業獎勵を策す

沿岸地帯工場喪失に對應

【上海九日電】國民政府は沿岸地帯の工場が喪失したことに對して、奥地の工業を獎勵する策を講ずる。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

鄭州及其附近の地理的懷古

大宮 權平

鄭州は豫州の都。其の地は古來より名勝地なり。其の地は古來より名勝地なり。其の地は古來より名勝地なり。其の地は古來より名勝地なり。

大戰車砲とみせて

古ボイラーと煉瓦

英紙、武器輸出詐欺を素破

【ロンドン八日電】英紙は武器輸出詐欺を素破した。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

興中公司に

石炭部を新設

大同炭を日本へ輸出

【大同八日電】興中公司は石炭部を新設し、大同炭を日本へ輸出する。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

米紙の道報

赤軍内部動搖深刻

【モスクワ八日電】米紙は赤軍内部の動搖が深刻であると報じた。これはわが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。わが國民は常に心に留めて置かねばならぬ。

品名	単位	価格	品名	単位	価格
大豆	一斗	一〇五〇	小麦	一斗	一〇〇〇
米	一斗	一五〇〇	大麦	一斗	八〇〇
粟	一斗	七〇〇	高粱	一斗	六〇〇
豆油	一斗	二五〇〇	菜油	一斗	二〇〇〇
猪油	一斗	三〇〇〇	桐油	一斗	一五〇〇
生絲	一担	五〇〇〇	棉花	一担	四〇〇〇
羊毛	一担	三〇〇〇	皮革	一担	二〇〇〇
鉄材	一担	一五〇〇	木材	一担	一〇〇〇
紙張	一担	八〇〇	布匹	一担	六〇〇
糖類	一担	一五〇〇	香料	一担	一〇〇〇
茶葉	一担	一五〇〇	藥材	一担	一〇〇〇
海産物	一担	一五〇〇	畜産物	一担	一〇〇〇

日本橋茶房

食事と喫茶

日本橋通 電話(三)三三八番

二合永靴店

新製、備後表

薄底、床兒玉、畳商店

其他一式販賣

電話(三)三三八番

小諸追分

佐々木 章

高橋 邦子

大村 邦子

大森医院

内科、外科、小児科、婦人科

電話(三)三三八番

吉大

料理、喫茶

電話(三)三三八番

眼鏡屋

眼鏡、接触レンズ

電話(三)三三八番

洋行

旅行、観光

電話(三)三三八番

スレイン

美容、化粧

電話(三)三三八番

行信

郵便、通信

電話(三)三三八番

谷合綜合科

内科、外科、小児科、婦人科

電話(三)三三八番

下道修繕

水道、排水

電話(三)三三八番

ちり紙

紙張、印刷

電話(三)三三八番

井井小児科

小児科、内科

電話(三)三三八番

電話金融

貸付、融資

電話(三)三三八番

本電話店

電話、通信

電話(三)三三八番

下水道修繕

水道、排水

電話(三)三三八番

井井小児科

小児科、内科

電話(三)三三八番

電話金融

貸付、融資

電話(三)三三八番

本電話店

電話、通信

電話(三)三三八番

下水道修繕

水道、排水

電話(三)三三八番

嵐

が、曲藝をやつてゐた地
を、その怒つた從、吉島を小
馬鹿にして見てゐる酒屋の小
僧に、

「お父つあん、今日も蟲は休
みか、俺、酒代を今日
こそ、拂つてもらはにや、
爺さんに叱られてしま
わあ！」

何を、小僧、お前の酒や
あるまいし、老ばれの爺狂
ひの酒やねえかええ、
「あいつは、俺が贈さ
ふたを取つて、

「曼担、お錢頂戴。」
弟、いかにも要つてゐる様
に、

「馬鹿、錢なんが要らねえ
んだ。まただ。」

曼担が妹の服を直してやりな
がら、一錢、これで餅でも買
ひに、

外に駆け出して行、弟妹達
外、曲折の高胡弓と、ド
ラがきやかに聞えて来る。
速やかに落着

(四) 神戸

植ましようよ。え、罌粟……王：王よ私です。秀英華で……をいくら作つても、罌粟の實値ぢや、なんともならん……と泣くやうに叫びながら秀英華はよろ／＼と駆けよ……昔の彼に對する愛情のみが後……秀英華が彼の膝へ泣きくづれたやうだつた。

一つの戯畫
——藤澤恒夫「侍のみ
風景」(『改造』六月號)

「はい、愛嬌ちゃんか。商
士は濟んどのかい？え……」
愛嬌の聲には素の難習に吞ま
れてゐた。

「さあ、おいで、おいでよ！
親分がさ、愛嬌が來たと呼
んで呉れ、連れて来い」とさ
矢の擧げ、私は百姓の娘だす
周知さん、私を百性の娘です
妓館の女ぢやないです。私
は野郎を買つて貰へばよい

これはまさしく一つの大變故とらるべき小説であ
り、これではいかん、鐵道とやらんと取れ、讀みかげ
れが藝術上の獨立な立と言つて可なり。來女といふ
きの脚本も、いふ書かされてゐる男、俳優を志願し
ける、監督助手のやうにしてゐる無氣力男子、男
東京から呼ばれて来る清流と戀する少女俳優
書きたし人物としてそれだけのこと、露面して居
ユメヨ保衛隊」にでも思想なく時代付いたもの
の譯名も愛嬌である。と思ふべく、たゞ世帯
なものに眼觸れやうに弄られてゐる朝花の草」と比
いふ委だか。武田太郎の「朝花の草」と比べてそ
間にか大きな距離を感じさせられる。作者のため
に一作（御屋良）

彼女を想へば、浮ぶや千種、けつし羽の
つちかか云へば莫迦で感懐、男
性の強い純粋な愛、好男子
だった。それでさうした過去
の彼かと思ひ出せなかつた彼
女だつたので、一人きりで
客のやへ／＼ながら昔、現在
の王についての話は然しつ
くり思ひ合ふことがあつた
第一彼は親不孝ではなかつ
たに依つて、自分の愛の強

大に生きた樹木を見て
天に興奮して誇つて息子へ
の約束よき教訓と云つて息子へ
つて見物か／＼を勧誘し
来るやうな男の顔を、かたに急
にぞ／＼と／＼嘆きかかはさ
れた。あれが王様様の昔の
情人なんだぞ／＼面くらつて
来たわい。あの活線様はどう
すんだらう」と、二人が小聲
に、に多分の期待で、きこ
とを含め、かう云つて友達の

感動と／＼溜息とつかぬ聲を
聴くと次の瞬間には又もとの
やうにその聲は消えなかつ
まつたのである。

それは人々にはなやかなる
期待で反して全くあつてな
幕を閉ぢてしつた。

しかし、あけなかつた大
けに反つて人の感動も大き
かつたのは事だつた。

だが然し眞流の貴冑の中に
も、奇奏なるの手前自

シヨオ (B)
寸奇野守

しね。
「うん、強豪は場からさ。え
この甜菜は場で讀られる
時は、俺も、大座で怒鳴ら
やうで。」
甜菜の田舎。
「こらあ、俺達のお上へんの奉
公心の賜だ、何んの、遠慮
が要るものか、大座でんぐ
ぐんせり上げてやるぞ。」
沃野の眞實である。
田野に焚けて煙に輝きやいて
ゐる太陽の光。
ゆるやかに溶ける。

× ×

時々やうな聲を用ひて、彼の同
時代の人に対する意見を述べる
彼には偶像敬愛を以て一種の料
理となしてゐる。資敵と結締
する民主主義、宗教とこれの
至つたか、若し波がその態度
さを表示するやうな男だつた
と彼女が甘く思ふ起す」と今
評判になつたる王夢傑はそ
れで違つたものやうにしたか
へならなかつた。それに、こ
と、現在の人が昔の情人と同じ
一人であつたらしく、今とい
自分には彼を支拂へぬのだ魅
力はつか失はれたはずです。
トトラフて視力のかすみみ
かけてくる容貌に自信がどこ
か自分がよく消息の出るほど
愛憎ともにけちけたやうな、寧ろ
掄鉢の現れたつたので、彼は
に迷ひたと云ふ羞しい慟動
は今迄でさうしく自滅されて

快を感じなさながらである。
そして我はおのづと後が我々
が神聖なものとする事物の
前でも嘲笑する者を期待す
に至つた。若し波がその態度

所をついた。
成をついた場面になると今迄
は唯有難い偉人で日参して
たやうな老害達の感情ですら
彼らは恰度東洋に一度來るか
来ないかの名優の舞台を見上
るやうな好意の興味で、全
體が今年迄ない緊張した注
目を夢傑の土へ集往するのだ
つた。
そして彼の中には次劇場
への想像で既に酔つたやう
になりながら、「實際王と秀英華との情事
は大した評判だったからなん
」と云つて舌ためずりするや
うだが彼是我々の法廷が真正
義に叛く我がことを教へる
我々は社正正義の努力を賞讃
する、だから悲憤狂者を買員
した二重の被害者を責め

の悲しみと不安とのしくさの
心には恐らくぬれ場的情景を
甦想にして見たい。しかし相手の
王夢傑のたりどころのない
寒々冷い腹直に彼女は全面に
立つて、蔭影で復讐を企及す
たが、胸の中に彼の膝をゆす
るのだ外には、けれども前に立
った露の外では彼女は普通の戀
人からなんら反感も得られな
くない。「あれほど好き合た
仲なのに」と彼女は、まるで
別人のやうになつてしまつた
王の裸の腰の上から何処迄
も顔を上げずに、しかかも逆

書目
小説

本編昭和十三年四月出版
望の原稿は本誌編輯部より附載部分を除く
附記一〇四頁

貸出勉強

超強殺虫

ベント

專賣特許

總代理
石川屋一八五入

一ガロン輸入
二ガロン輸入
三ガロン輸入
四ガロン輸入

全國藥店・雜貨店
食料品店ニアリ

總發售處
澤藤吉商店支店

東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・水戸・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・高松・愛媛・福岡・佐賀・長門・山口・大分・熊本・鹿兒島・那覇

(12.2.1)

健康

往診即時
產婆派出

入院隨時
病室完備

電話 (代表) 2-5678
(受付 2-2106・病室 2-2157)

目録新診

內科、外科、
產婦人科、小兒科、
皮膚泌尿科、泌尿病科

各科專門
年中無休

新東京慈光路四〇一 (南新東京附近・興亞橋前)
バス慈光路停留所前

院長 醫學博士 饒村佑一

新東京慈光路、慈光學園內
慈光助産士看護婦學校
生徒募集 希望の方は申込れたし

